城石　幸治	常務取締役	平成24年６月20日～平成26年６月株主総会日	—
古賀　徹志	取締役	平成24年６月20日～平成26年６月株主総会日	—
田中　龍治	取締役	平成24年６月20日～平成26年６月株主総会日	—
日高　淳一	取締役	平成24年６月20日～平成26年６月株主総会日	—
山田　眞弘	取締役	平成24年６月20日～平成26年６月株主総会日	—
福嶋　和彦	取締役	平成24年６月20日～平成26年６月株主総会日	—
関　信介	取締役	平成24年６月20日～平成26年６月株主総会日	—
津髙　守	取締役	平成24年６月20日～平成26年６月株主総会日	—
古宮　洋二	取締役	平成24年６月20日～平成26年６月株主総会日	—
鎌田　迪貞	取締役	平成24年６月20日～平成26年６月株主総会日	—
利島　康司	取締役	平成24年６月20日～平成26年６月株主総会日	—
馬場　義文	取締役	平成24年６月20日～平成26年６月株主総会日	—
前田　勇人	取締役	平成24年６月20日～平成26年６月株主総会日	—
細田　勝則	監査役	平成23年６月23日～平成27年６月株主総会日	—
大野　芳雄	監査役	平成23年６月23日～平成27年６月株主総会日	—
日野　佳弘	監査役	平成23年６月23日～平成27年６月株主総会日	—

⑶　社員数（平成24年４月１日現在員）
9,510人

日本貨物鉄道株式会社　平成23年度決算等に関する公告

平成 24 年８月 31 日

東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目33番８号
日本貨物鉄道株式会社
代表取締役社長　田村　修二

1　平成23年度の貸借対照表及び損益計算書の要旨

貸　借　対　照　表　の　要　旨

（平成24年３月31日現在）　（単位：百万円）

科目	金額	科目	金額
流動資産	38,322	流動負債	53,345
固定資産	318,426	固定負債	260,723
		負債合計	**314,068**
		株主資本	42,696
		評価・換算差額等	△　16
		純資産合計	**42,680**
資産合計	**356,748**	**負債及び純資産合計**	**356,748**

損　益　計　算　書　の　要　旨

（平成23年４月１日から平成24年３月31日まで）

（単位：百万円）

科目	金額
営業収益	152,991
営業費	149,342
営業利益	3,649
営業外収益	625
営業外費用	4,117
経常利益	157
特別利益	3,674
特別損失	2,605
税引前当期純利益	1,226
法人税、住民税及び事業税	171
法人税等調整額	1,611
当期純損失	555

㈱　１　有形固定資産の減価償却累計額　346,531百万円
２　１株当たり当期純損失　1,462円83銭

2　主たる事務所の所在地、ディスクロージャー担当部署及びその電話番号

⑴　主たる事務所の所在地　東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目33番８号
⑵　ディスクロージャー担当部署　総務部
⑶　電話番号　03―5367―7370

3　平成24年度の事業計画の概要

わが国経済は、デフレの影響が慢性化する中で発生した東日本大震災の影響から徐々に持ち直しつつあるものの、景気は足踏み状態が続いており、本格回復には時間を要すると考えられる。

このようななか、昨年末に策定した、平成30年度までに経営自立を達成する「経営自立計画」を着実に実行していく。本年度は、安全・安定輸送の確保、コンテナ輸送品質の向上に全力で取り組むとともに、積極的な営業施策の展開等を図る。また、燃料価格上昇など、経費増嵩が懸念されるため、経費節減に努める。さらに、効率的な業務体制の確立、輸送量の変動に機動的な対応が可能となるような経費構造への変革等を進める。

	輸送量の見通し		列車の運行量
	輸送トン数	輸送トンキロ	
コンテナ	2,144万トン	195億トンキロ	63百万キロ
車扱	931万トン	14億トンキロ	５百万キロ
計	3,076万トン	209億トンキロ	68百万キロ

㈱　上記の数値は、経済情勢の動向等により変更する場合がある。

4　平成23年度事業報告の概要

わが国経済は東日本大震災の影響により大幅に落ち込んだ後、徐々に持ち直しの動きを見せたものの、欧州の経済危機等を背景とした世界経済の減速や歴史的円高の影響を受け、全体的には足踏み状態が続いた。輸送状況は、震災による幹線ルートの寸断、大型台風の度重なる上陸、冬季の記録的豪雪の影響等により、5,000本近い列車運休が発生した。